

☆ 音楽の記号を飾ったデザイン

まつばら通信 **あんだんて**
 (歩くような速さで)

日本共産党鎌ヶ谷市後援会ニュース
 《部内資料》

松原よし子連絡先
 電話：047-444-5730
 fax：047-412-0430
 携帯：090-3204-4324
 ご意見ご要望をご遠慮なくお寄せください。

様々な行事がもとに戻りました

二和健康まつりに参加
 10月29日は以前、ソーシャルワーカーやケアマネージャーとして勤務していた船橋二和病院の健康まつりでした。

千葉土建鎌ヶ谷フェスタにも
 下の写真は、11月5日に行われた「千葉土建鎌ヶ谷フェスタ」の様子の一部です。

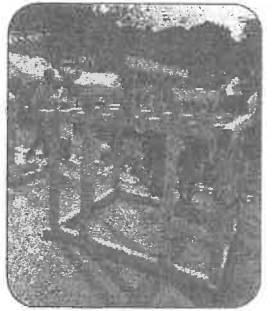
健康の大切さを伝えるパネルや、今でも「被爆者検診」が続いている病院だけあって被爆の現実を伝えるパネル展示が続けられていることに感動しました。

ミニ建前、多くのお子さんたちも参加して、柱をくみ上げていました。また、周囲では親子連れで木工細工を作るトントンという元気な金槌の音や水道管で作ったゲーム、鉋を削る音でいっぱいでした。



写真は、元同僚たちが

職人さんって大切です！弱者いじめの政策が襲いかかってきています。とくにインボイスは、なくすまで頑張り続けていきます。



手作りしたわにわにパニックに挑戦中の私です。懐かしい人たちに会えて、ほっとする時間となりました。

2023年9月議会報告会・学習懇談会を開催します
 日時：11月25日(土) 14:00～
 会場：中央公民館学習室4
 内容・松原よし子9月議会報告
 ・下総基地と土地利用規制法について(講師紙谷敏弘氏)
 *紙谷氏は原水協千葉に所属し平和の問題に精通した方です。



(写真上は毎年のオスプレイいらない集会、鎌ヶ谷からの参加者も)

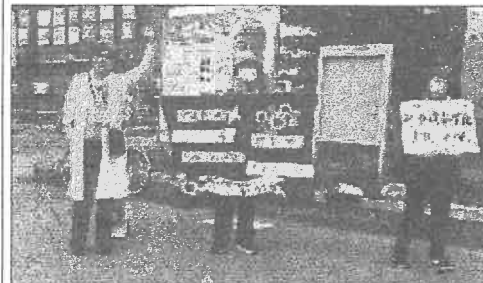
新型コロナが2類から5類になって...
 多くの地域や団体で様々な行事が行われるようになりました

でも戦禍の街から...暮らしの中から...

子どもたちの命守れの願いは尽きません!

11月

以来始まったガザ地区へのイスラエルの攻撃によって、多くの子どもたちのいのちが失われている、平和が一番！と訴えました。参加団体のひとつでもある「生活と健康を守る会」の佐竹前市議もガザの子どもたちへの募金を訴え、道行く人の協力をお願いしました。



10月27日の夕方、新鎌ヶ谷駅前にて、鎌ヶ谷革新懇の宣伝に参加しました。新日本婦人の会・年金者組合・千葉土建など様々な団体が加入しています。日本共産党も加入団体の一つとして、この日は、①新婦人が集めている学校給食費ゼロの要求、②10月7日



学び合い・助け合い・語り合う教育集会に参加

写真は講演をする名古屋大学教授内田良さんです。労働基準法の枠から外されている学校の先生方の働き方を変えるためには、何が必要かなど、とてもわかりやすいお話でした。部活動の地域移行の課題の大きさも語られました。



じろべい うちに来て1年目の図

昨年産業フェスティバルに、里親を探している猫として、写真で出会いました。その写真を見た瞬間、昔、うちにいたシーサーと生き写し！と感動して、会いに行き引き取ってから、ちょうど1年が経ちます。最初は病気ばかりで、どうなることかと思いましたが、無事に、ここまで来ました。最近では、「じろべい！」と呼ぶと何故かカメラ目線で振り返ります(笑)



＜無料法律相談会＞
 (今後は「鎌ヶ谷生活と健康を守る会」と、合同で行います)

次回12月1日(金)
 13:30～
 12月は第1金曜日です(30分毎の予約制)

◆会場◆
事務所の住所です
 <場所>
 鎌ヶ谷9-8-49

東葛総合法律事務所の弁護士が、ご相談に応じます。

ご予約は、下記まで...
 松原 よし子携帯

090-3204-4324
 事務所の前が駐車場になっています。
 お車でも安心してお越しください。

イスラエルのジェノサイド許さない

日本共産党 人道的危機止めるために各国政府へ要請

ハマスとイスラエルの戦闘が始まって1カ月余がたちました。ハマスの攻撃はもちろん許せないが、その後の推移を見るにつけ、今やイスラエル軍のガザ民間人への無差別攻撃、とくに病院を平気で空爆する映像を見るにつけ、イスラエルのやり方に対して世界の人々からジェノサイド（集団殺害）と批判されるほど悲惨な状況です。

世界各国では、いまずぐ停戦を、と求める声が日増しに大きくなっています。しかし、日本政府は国連総会のイスラエル停戦決議採択の際に、イスラエル側に立っている米国に”付度”して棄権したのです。こんな情けない政府なんて

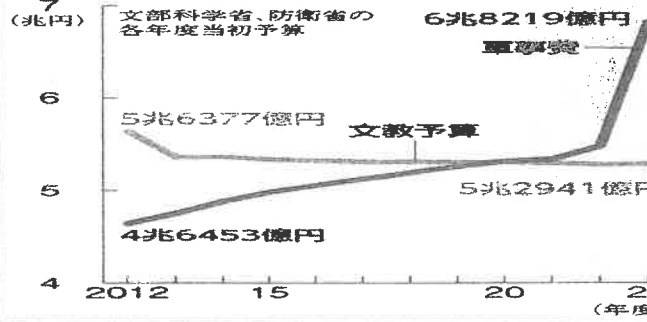
替えなければいけません。これは、各世論調査の支持率低下が国民の声を物語っています。

ガザの死者は5日現在1万3000人にのぼり、さらに民間人の、しかも子ども、女性、病人など武器を持たない人たちをターゲットにしているとしか考えられません。

また最近の報道では、ガザの人口230万人のうち家を失った人は150万人とされていますが、なおこの数字は増えています。こういう悲惨な状況を今すぐに終わらせようではないですか。

日本共産党は、世界各国へ向けた人道的危機回避への行動を求め、要請を行いました。（原島）

軍事費が教育費を逆転 岸田政権下で差が拡大



赤旗日曜版が面白い！

10月29日号の「しんぶん赤旗」日曜版の第1面を見て、私は本当にショックを受けました。「あんだんて」の編集者をお願いして、一部を掲載してもらいまし

私も教師でしたが、この状況では、子どもたちの学ぶ権利は守れないと思います。

こんなにわかりやすく今の政治の問題点を知らせてくれる新聞は他にはないと思いました。これからも読みたいです。（NS）

買い物難民に朗報！

移動スーパー稼働開始

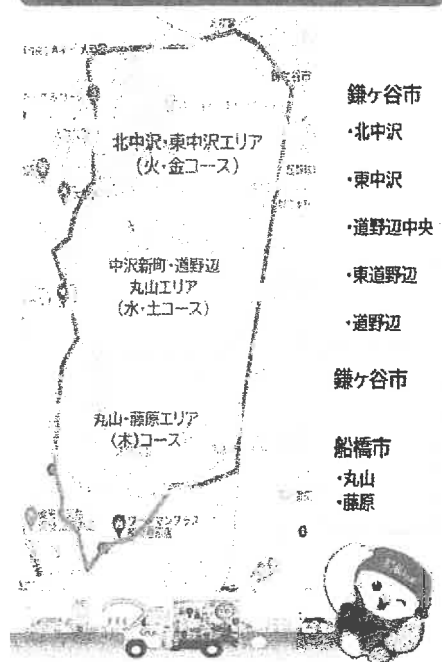
10月26日（木）東武ストアと移動スーパーの運行会社「とくし丸」による市内移動販売の出発式が開催されました。

日本共産党市議団として、佐竹前市議が「買い物難民問題」について、一般質問で何度も取り上げていました。その甲斐あって…という気がします。

次回はご地域の方から、実際にお買い物をされている様子がお知らせできればと思います。（M）



訪問販売エリア ご紹介



地球科学者5302名が声援

「日本には放射性廃棄物の地層処分の適地ない」

日本の地球科学の研究者・教育者・技術者302名が10月30日「世界最大級の変動帯の日本に、高レベル放射性廃棄物の地層処分の適地はない—現在の地層処分計画を中止し、開かれた検討機関の設置を」との声明をを公表しました。

原発から出る高レベル放射性廃棄物（ゴミ）の最終処分場（取り出ししない地下埋設場）は10万年間の安定性が求められます。「候補地選定の文献調査」は、長崎県対馬市では市長が応募しない事を表明。北海道の寿都町と神恵内村で進められていて、調査報告書待つ段階となっています。代表の赤井氏は「科学的議論に蓋をして地層処分ありきで進められ、2012年9月に原子力委員会からの審議依頼に対する日本学術会議の回答は従来の政策の抜本的見直しを求め、暫定管理と総量管理の提案が無視されている。これには科学的議論をする第三者機関の設置が必要で、賛同者をさらに広げたい」と話しました。

2名の発言者から「ドイツの岩塩廃鉱跡の地下埋設も、地下水の漏れ出しにより制御不能になり全回収実施を迫られ、より安定とされるフィンランドの処分場でも地下水が湧出から逃れることは困難。大陸の安定な地盤でもこのような状態である。世界最大級の変動帯の日本では地層処分はありえない」と語りました。この声明は国、自治体、電力会社、マスコミなど400機関に送付されました。（岩本 広志）

〇〇情報いろいろ〇〇

★食サポ@鎌ヶ谷2023

日時：12月17日（日）
14：00～

場所：かまがや診療所駐車場
住所：東中沢1-15-61

物価高のなか、生活にお困りの方を対象に、食材・日用品などを無料で提供致します。

食材・日用品など提供して頂ける方はご連絡下さい。
連絡先 大岩080-2482-1347、
倉橋090-9846-4747、
佐竹047-446-3729、
本谷047-445-6682、
原島090-7902-4812まで。

★松戸市民劇場で山田火砂子 作品映画2本上映

日時：12月9日（土）

- ①10：30～「筆子その愛」
- ②14：00～「大地の詩-留岡幸助物語」

場所：松戸市民劇場ホール

前売り券 1200円

当日券 1500円

（いずれもどちらか一本の金額）

主催・問い合わせ先：よい映画を観る会（070-8933-5703）・現代ぶろだくしょん（03-5332-3991）

『しんぶん赤旗』のご購読をお願い申し上げます。

『しんぶん赤旗』の申し込みは、市議・松原よし子まで。

090(3204)4324

（会議中はすぐには出られません。折り返し電話致します）

最近のしんぶん赤旗は、スクープ続きです。（丸）